ノマド

いつも決まった場所ではなく、カフェや公園、お客さんのオフィスなどでノートパソコン、スマートフォンなどを駆使しネットを介して場所を問わずに仕事を進めること。「サードプレイス」という自宅でもなく、オフィスでもない、第三の自分の居場所で仕事を行う新しいスタイル。

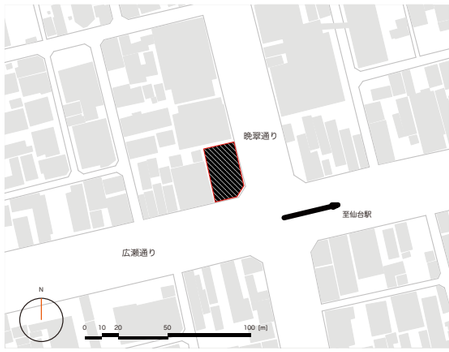
— 引用：はてなキーワード

遊牧民の寝床

ノマドワーカー。近頃よく耳にするこの言葉。雇用体系をとらずフリーランスで働くのが彼らである。職の組織化が進む一方、独り独りが独立し、個人で立ち向かっていく働き方に注目が集まり、年々この「ノマドワーカー」が増加している。

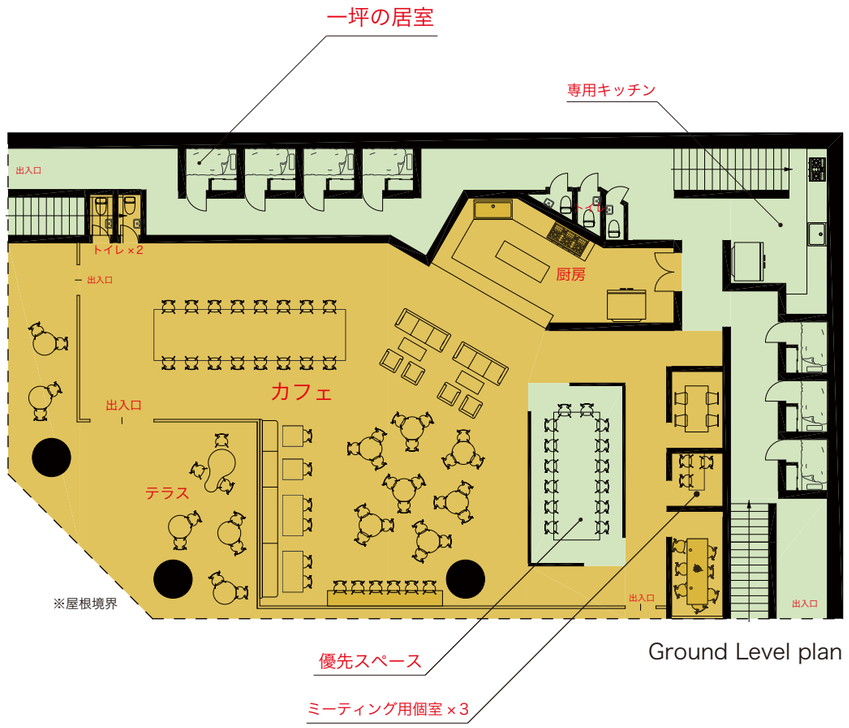
カフェ、ファストフード店、レストラン、電車、バス。自宅でもオフィスでもない。街に溢れかえるあらゆる場所が彼らの仕事場になる。決して一つの場所に留まることはない。さまざまな出会い、出来事が彼らをよりクリエイティブにする。

そんな彼らのためのソーシャルアパートメント、「遊牧民の寝床」をリノベーションによって生み出す。



場所は仙台市中心部のガソリンスタンド。仙台駅から１km 強の場所である。交差点の角地でもあり、様々な人が行き交う。
大きな屋根の下、都市に開かれたこのガソリンスタンドは、遊牧するノマドにとって最適な場所である。

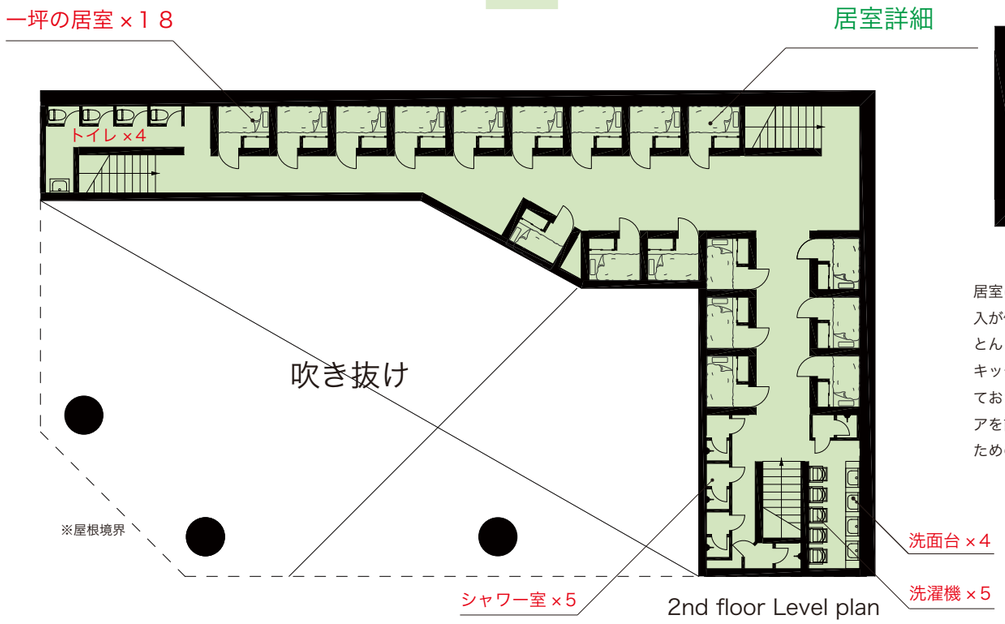
一階には７つの一坪の居室があるが、主にカフェスペースである。ここは市民も利用することが出来、さまざまな出会い、出来事が期待できる。
居住者はこのカフェスペースを自由に使え、仕事をしたり、カフェで買ったものを食べても良し、専用キッチンで自分で作ったものをここで食べても良い。リビングのような、仕事場の用な、そんなノマドのための開かれた空間である。
居住者優先スペースを設けており、ここは誰もが使えるカフェスペースとは違い、ノマドの集まる密な空間となる。またミーティング用個室では打ち合わせ等を行うことができる。



Ground Level plan

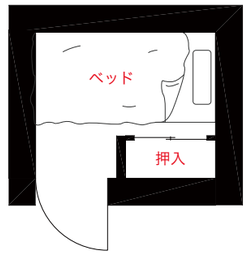
: for all

: for nomad



2nd floor Level plan

居室詳細



居室は全て同じ規格で、一坪である。押入が備え付けてあり、ベッドが部屋のほとんどを満たしている。
キッチン、トイレ、洗濯所等は備え付けておらず、基本的に全て居住者同士のシェアを前提としている。遊牧するノマドのための部屋である。

二階は居住スペースとなっており、１８の一坪の居室がある。シャワー室、洗濯所、洗面所があり、一階の居住者とともに共同で使用する。

ID：rcccp22357
名前：阿部　憲太